

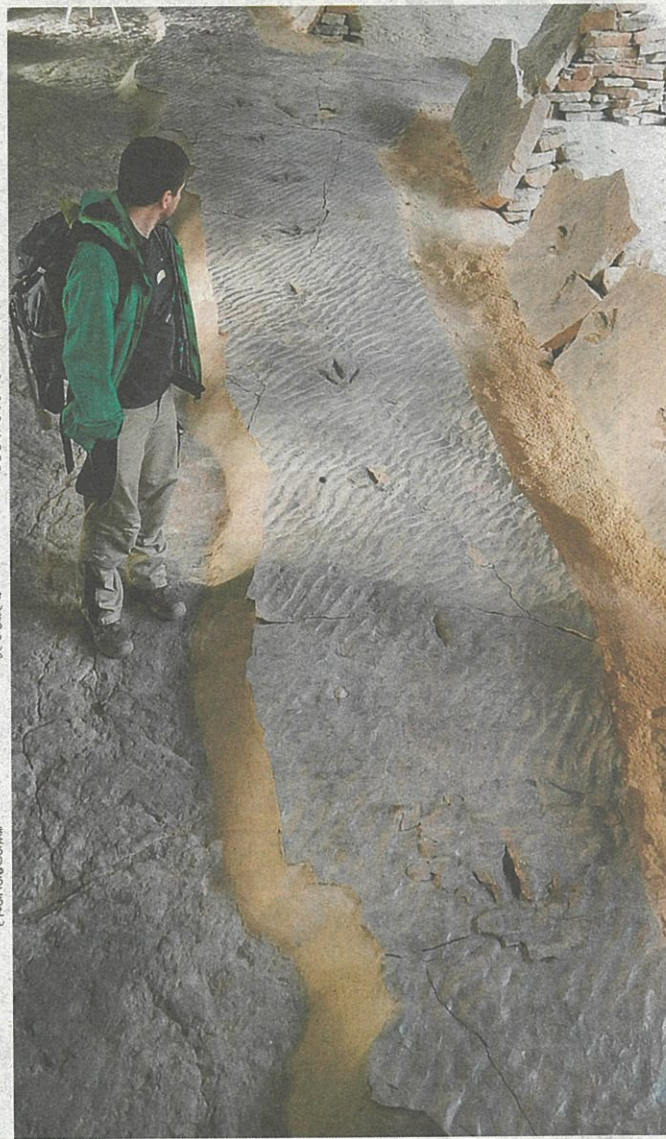
特集

大型の足跡化石も見つかって、その地層の上にはこんなモデルが組み上げられていました。ミュンヒハーゲン恐竜公園



9月にドイツに行ってきた。国際陸上生痕化石会議。恐竜をはじめとする古生物の足跡、糞、胃の中の石(胃

世界中の研究者と友達に



中型肉食恐竜の足跡を説明するドイツの研究者。ミュンヒハーゲン恐竜公園

石といいますが)などを調べる人たちの集まりです。変な専門分野! そんな研究者は何人いるのでしょうか? 今から35年前。私が恐竜の足跡化石研究を始めた頃。そんな専門の人は世界でもわずかでした。日本では私を入れて2人でした。今は日本で約10人。世界には何百人もいます。今回も多くの研究者が集まり、交流は活発! (ここまでこの分野が発展したんだなと感じました。うれしく、感慨深かったです。こういった会議のおもしろいと

ころは、「○○の足跡を研究している」というだけで、同じ分野の研究者と意気投合できることです。その人たちのお国はアメリカ、韓国、イギリス、スペイン、ドイツ、インド、フランス、スเปน、モロッコ、南アフリカ…。今回は新たにアルゼンチンの砂漠でジュラ紀後期の足跡を研究している人と友達になりました。それはもう1億5千万年前からの親友のように話はずみです。「ぜひアルゼンチンに来てください」と言われると本当に行きたくなります。

そのうち読者のどなたかと、こんなふうにお話しできないかなあ? きっとできますよね。楽しみにしています。



足跡などの化石の国際会議

岡山理科大教授・石垣忍



恐竜調査隊が行く

まめ ち しき 豆 知 識

国際陸上生痕化石会議は2年ごとに開かれます。ドイツの前は南アフリカ、その前はモロッコでした。次の会議は2年後にアメリカのコロラドで開かれます。写真は若い研究者のポスター発表を聞く世界の学者たち。